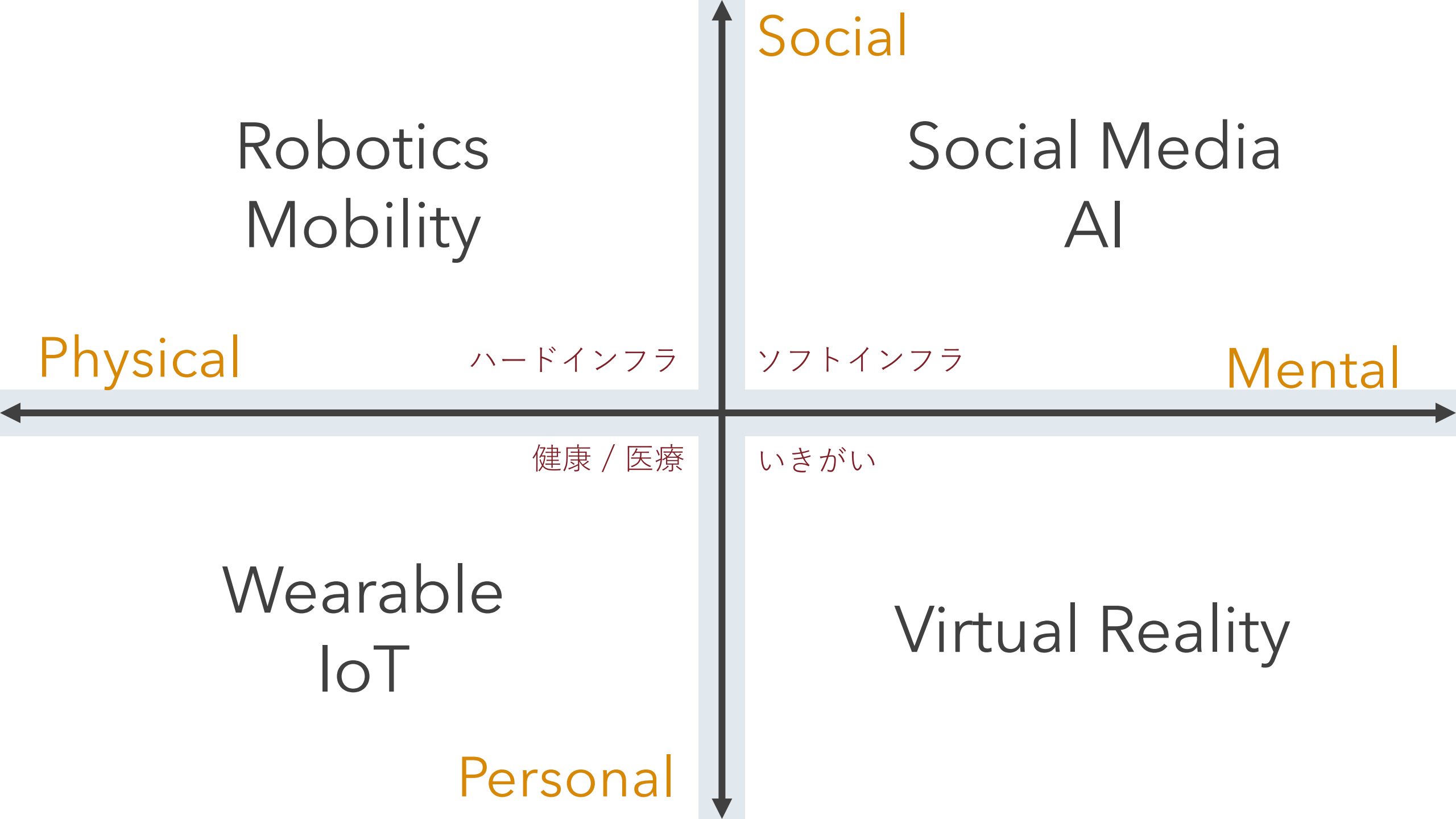


第2回 高齢社会対策大綱の策定のための検討会資料

貢献寿命の延伸とICTの利活用



一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科 教授
東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授
檜山 敦



Social

Robotics
Mobility

Social Media
AI

Physical

ハードインフラ

ソフトインフラ

Mental

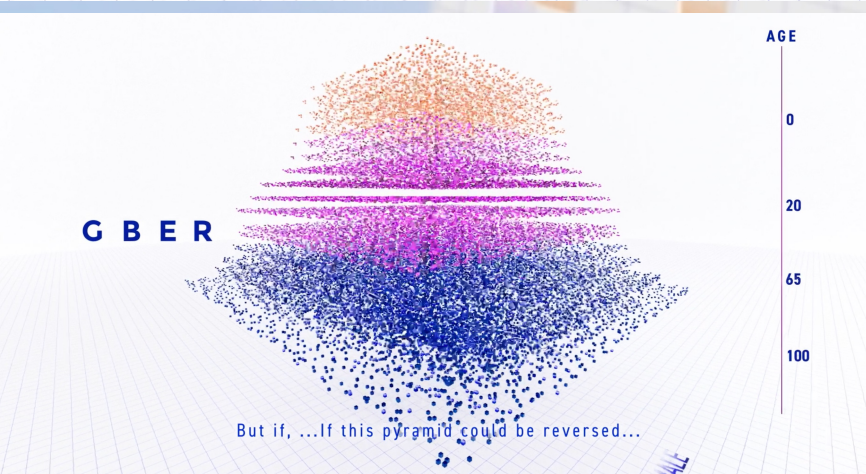
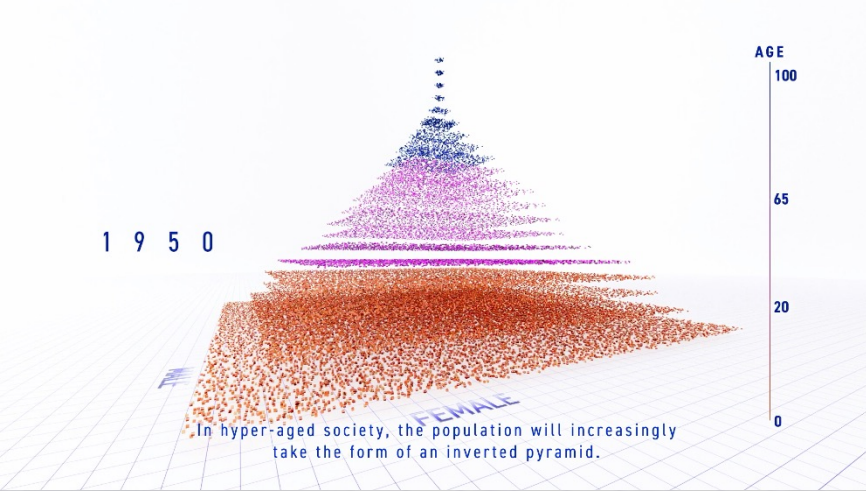
健康 / 医療

いきがい

Wearable
IoT

Virtual Reality

Personal



GBER

Gathering **B**risk **E**lderly in the **R**egion

自律流動的なモザイク型の社会参加と人口ピラミッド逆転の発想

plish the missions that cannot achieve by one.

3

健康寿命の延伸と社会的なつながり

65歳の平均余命	戦前	1935-1936	男性：9.89年	女性：11.88年 ^[1]	[1] 厚生労働省 第20回 生命表 [2] 厚生労働省 令和4年 簡易生命表
	戦後	2022	男性：19.44年	女性：24.30年 ^[2]	
健康寿命		2019	男性：72.68年	女性：75.38年 ^[3]	[3] 厚生労働省 健康寿命の令和元年値について

高齢者の社会的な孤立と健康リスク

- 健康な高齢者であっても、「**社会的な孤立**」と「**閉じこもり**」が重なると、どちらも該当しない高齢者に比べ、**6年後の死亡率が2.2倍**に上昇する^[4]
- フレイル予防において、身体活動が困難な高齢者であっても、**文化活動や地域活動などの分野の異なる活動の重複実施がフレイル予防**につながる可能性が示唆された^[5]
- イギリス政府による社会的処方政策^[6]
 - グレーター・マンチェスター
 - 社会的処方計画を受けた患者の80%が救急外来、外来診察、入院の使用を減らした**

[4] Sakurai, R., Yasunaga, M., Nishi, M., Fukaya, T., Hasebe, M., Murayama, Y., Fujiwara, Y.: Co-existence of social isolation and homebound status increase the risk of all-cause mortality. *International Psychogeriatrics*, 31(5), 703-711. 2019

[5] 吉澤 裕世, 田中 友規, 高橋 競, 藤崎 万裕, 飯島 勝矢: 地域在住高齢者における身体・文化・地域活動の重複実施とフレイルとの関係, *日本公衆衛生雑誌*, 66 巻, 6 号, p. 306-316, 2019

[6] 内閣府 令和元年版高齢社会白書 (全体版)
https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2019/html/zenbun/s1_3j_topics4.html

健康寿命から貢献寿命(Engaged Life Expectancy)の延伸へ

貢献寿命(Engaged Life Expectancy)：生活や社会へのエンゲージメント、特に社会や他者との積極的な関わりを持ち続けられる人生期間

「**貢献度尺度^[7,8]**」 **社会とつながり役割を持ち、誰かの役に立つ、感謝されるといった関わりを持つ程度**

他者や社会と主体的に関わろうとする**意欲**をもっていること

(客観的にみて)
社会的な**役割・つながり**を持っていること

自分の存在や行動(役割)に対して他者から**フィードバック**を得ていること

[7] 貢献寿命延伸への挑戦！～高齢者が活躍するスマートコミュニティの社会実装～, 長寿科学振興財団

[8] Sugawara, I., Akiyama, H., Imashiro, S., Maeda, N., Yoshida, R., & Hiyama, A. Engagement with life and society in old age: Qualitative exploration of retired older Japanese. International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress 2023, June 12-14, 2023, Yokohama, JAPAN



- **個人の日常の振り返り**：獲得した老後の時間をいかに豊かなものにしていけるかを確認する
- **地域診断への応用**：貢献寿命の長い地域は住民と社会とのエンゲージメントが生まれやすい性質を持つ
- **テクノロジーを援用することで健康寿命よりも長い貢献寿命が持てる可能性もある**

社会参加促進の課題

Webアンケート調査：全国、65～74歳、3000名を対象（男性1644名、女性1356名）^[7]

あなたは65歳時点でその後の将来に向けた「人生計画」を立てていましたか

明確に立てていた	5.5%
漠然と考えていた程度	42.7%
特に立てていない	50.7%
わからない	1.1%

高齢期は先のことという意識：住まう地域との接点、学びなおしの機会を用意しできるだけ早く参加することが重要である。

現在、仕事をしていますか？
現在、何か仕事以外の活動（地域活動や趣味サークル等）に参加していますか？

	地域活動している	地域活動していない
仕事している	10.6%	23.6%
仕事していない	17.4%	47.5%
その他	0.3%	0.7%

[9,10]も踏まえ、
地域活動への意欲は高いが実施できていない
地域活動の情報をワンストップで入手できるプラットフォームの実装

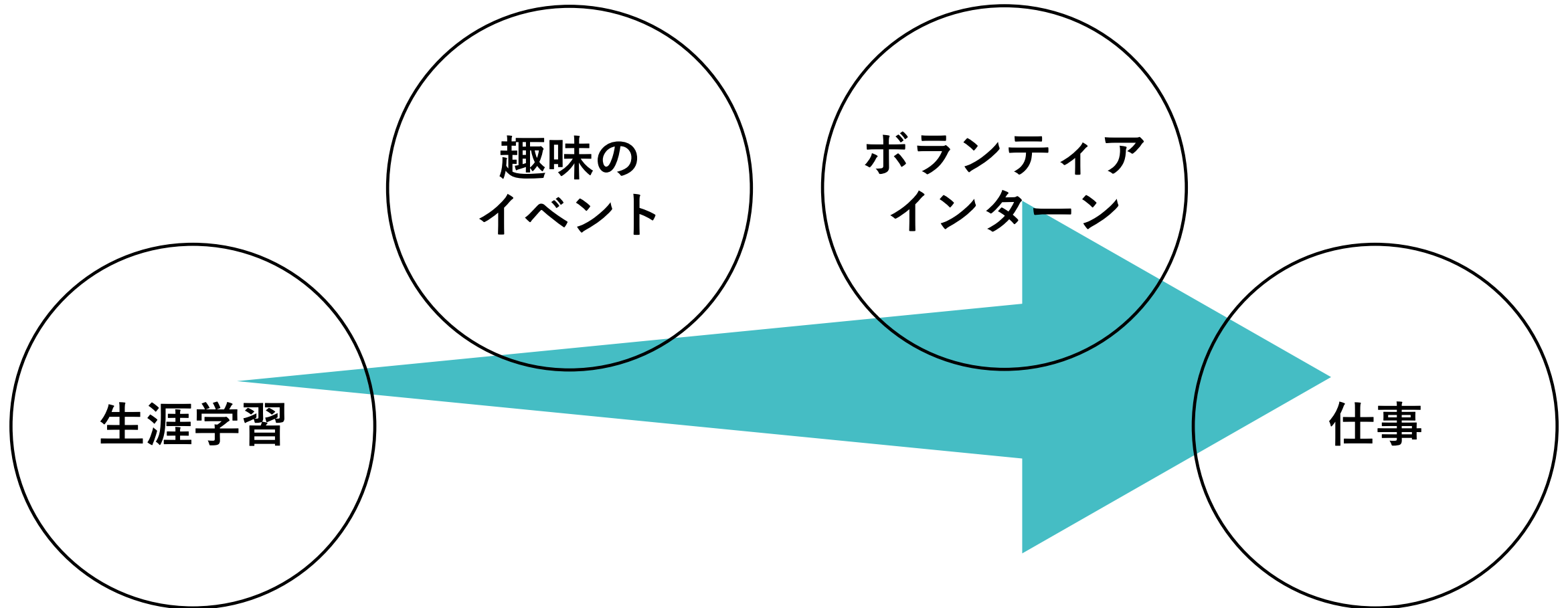
現在、働いていない人で就業を希望する人の仕事（業種）別の就労意欲

[10]も踏まえ、**まちづくりへの貢献意欲が高い**

補助・軽作業	自治体関係	マンション管理人	学校関係	清掃	接客	運転	農作業	介護・福祉	子育て	保安	どれも ない
42.6%	35.0%	16.2%	12.8%	12.6%	11.2%	11.0%	10.5%	8.6%	6.8%	5.5%	23.0%

[7] 貢献寿命延伸への挑戦！～高齢者が活躍するスマートコミュニティの社会実装～, 長寿科学振興財団
[9] 内閣府 高齢社会対策大綱策定のための検討会（第1回）資料5 高齢社会をめぐる現下の情勢 p.6
[10] 東京都 福祉保健局 高齢社会対策部 在宅支援課 シニア・プレシニア向けアンケート調査結果

社会参画の”機会創造”プラットフォーム



いきなりは仕事に踏み出せない

現役時代にあまり目を向けてこなかった住まう地域を知り、居場所を見つけていく

GBER: 柔軟な社会参加を促進するプラットフォーム

Schedule



Location



Interest



地域参加したい予定発信

生活圏内の地域活動を検索

興味関心を手軽に入力